



すべての人が長く働ける建設業をめざして

けんせつ小町  
team **愛**  
チーム あい



愛未  
あいみ

Chapter  
**01**

「どぼくの魅力」 (P2)

Chapter  
**02**

「どぼくと  
女性技術者」 (P6)

Chapter  
**03**

「チーム“愛”の活動」 (P12)





Chapter

01

# 「どぼくの魅力」

夜間工事による鋼橋の架設工事

# つくり手の喜び



利用する地域みなさんが喜んでくれた

構想、計画したものが現実にできた！

計画通りできないけど、困難をのりこえた達成感

大勢の関係者と一緒に仕事をする喜び

自分のアイデアが採用された

親に自分の仕事を見てもらえた

地域から期待された

子供に自慢した

できたものが皆さまに使われている



# インフラドクターの使命



使いながら治療（補修）  
する技術とアイデア

橋梁点検車を用いた橋梁の点検

定期点検する



損傷を発見し診断する



補修計画をたてる  
補修方法を考える



補修する



インフラを守る使命感

損傷しているところを  
見抜く名ドクターの技

さらに永く  
愛されるインフラへ

トンネル点検



九州南部豪雨におけるTEC-FORCEの活動状況

# まもり手としての自負



いつかどこかで起きる災害復旧で  
「どぼく」は必ず大きな力を発揮する

熊本地震におけるTEC-FORCEの活動状況



Chapter  
**02**

「どぼくと  
女性技術者」

全国で初めて女性現場監督がトンネル工事を担当



# 暗黒の時代から、光、そして輝きの時代へ

## 女性技術者の坑内作業に係る法律等の変遷

暗黒の時代

昭和22年 労働基準法（昭和22年7月公布 9月1日施行）

### 坑内労働に係る女性の就業の全面禁止



※「女が山に入ると山の神（女神）が嫉妬して事故が起きる」という迷信もあり、トンネル工事は女人禁制とされた時代でした。

光の時代

昭和60年 労働基準法

- 医師・看護師の業務、新聞又は出版事業・放送番組制作に関する取材について、臨時に女性が入坑可能に

平成4年

### トンネル工事に初の女性監督職員

国道19号北山トンネル工事で、所靖子技術係長（当時）が女性初の監督職員としてトンネル工事に従事しました。



平成6年 労働基準法

- 高度な科学的知識を必要とする自然科学研究に関する研究の業務に従事する女性であれば、臨時の措置として入坑が可能に

輝きの時代

平成18年 男女雇用機会均等法

- 女性の坑内労働規制の緩和

平成19年 労働基準法

- 満18歳以上の女性の技術上の管理業務および指導監督業務については、坑内業務の就業制限の範囲から除外する。ただし、妊娠中および坑内で行われる業務に従事しない旨を使用者に申し出た産後1年を経過しない女性は、この限りとしない。

平成28年

### けんせつ小町・チーム“愛”が結成される



意見交換会



女性技術者が活躍している現場環境視察



# ～建設現場の生産性向上に関する変遷～

平成28年 生産性革命プロジェクト (3月7日 第1回会合)

平成28年 未来投資会議 (9月12日 第1回会議)

## 平成28年度 i-Construction 導入

【目指すもの】

- ①生産性の向上
- ②より創造的な業務への転換
- ③賃金水準の向上
- ④十分な休暇の取得
- ⑤安全性の向上
- ⑥多様な人材の活用
- ⑦地方創生への貢献
- ⑧希望が持てる新たな建設現場の実現

# ～働き方改革に関する変遷～

平成29年 働き方改革実現会議 (3月28日 第1回会議)

平成30年 働き方改革フォローアップ会合 (10月15日 第1回)

令和元年 働き方改革フォローアップ会合 (5月30日 第2回)

令和2年女性の定着促進に向けた建設産業行動計画  
(1月16日 策定)

## 女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指し～国土交通省 Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind

○建設産業では、業界全体を活性化させるため男女問わず誰もが働きやすい業界とすることを目的に、平成26年8月の前計画策定以降、官民が一体となって、**女性の入職促進や就労継続に向けた様々な取組を実施**。一方、新・担い手3法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど**建設産業を取り巻く環境が変化**。  
○こうした取組をさらに促進するためには**就業の継続が大きな課題であることが顕在化したことから、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現することを目的としつつ、「働きつづけられるための環境整備」を中心に「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を策定**。

計画の柱	官民を挙げた目標	取組内容 (主な取組例)															
働きつづけられるための環境整備を進める	<p>「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を令和6年までの間、前年度比で減少させる。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>2014</td> <td>2015</td> <td>2016</td> <td>2017</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>71.0%</td> <td>103.7%</td> <td>79.7%</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>85.3%</td> <td>88.4%</td> <td>91.6%</td> <td>92.0%</td> </tr> </table> <p>出典:雇用動向調査を基に国土交通省で算出</p>		2014	2015	2016	2017	建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%	産業計	85.3%	88.4%	91.6%	92.0%	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建設産業の女性定着に向けた意識改革の必要性 イクボス宣言の推進 (社内広報などで宣言を見える化)</li> <li>2. 働き方改革の取組の推進 施工時期の平準化の推進、適正な工期の設定</li> <li>3. 「働きがい」と「働きやすさ」が両立できる環境の整備 柔軟な働き方 (短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワーク、ワークシェアリングなど) ができる環境整備</li> <li>4. 働きやすい現場の労働環境の整備 工事の現場において快適トイレや更衣室などの導入促進</li> <li>5. 復職に向けたサポート環境の整備 建設キャリアアップシステムを活用して職場復帰時に就業履歴を証明、能力評価基準を活用してキャリアパス例を提示</li> <li>6. 更にスキルアップできる環境を整える Web学習プログラムなどの職場外での技術・技能向上に向けた機会の提供</li> </ol>
	2014	2015	2016	2017													
建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%													
産業計	85.3%	88.4%	91.6%	92.0%													
女性に選ばれられる建設産業を目指す	<p>「入職者に占める女性の割合」を令和6年までの間、前年度比で増加させる。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>2014</td> <td>2015</td> <td>2016</td> <td>2017</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>19.5%</td> <td>15.0%</td> <td>21.2%</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>54.6%</td> <td>52.9%</td> <td>52.9%</td> <td>51.3%</td> </tr> </table> <p>出典:雇用動向調査を基に国土交通省で算出</p>		2014	2015	2016	2017	建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%	産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建設産業の魅力、働きがいの発信などによるイメージ戦略 教育現場と連携した、学生とその保護者に対する建設産業の魅力のPR活動 (現場見学会や出前講座の実施など)</li> <li>2. 企業や業界団体の女性定着に関する理解の促進 女性定着に関する企業の好事例の情報発信</li> <li>3. 新しい建設産業の魅力を創造・発信 i-Constructionの取組などの建設産業における働き方改革の取組についての情報発信</li> <li>4. 女性が活躍している仕事例の紹介 女性が活躍している仕事例の事例を収集し、情報発信</li> <li>5. えるぼし、くるみんの認定取得に向けた取組を促進 アンケート調査を通じた認定取得に向けた取組の実態把握や、その結果を踏まえた実効性のある取組 (説明会における認定取得に向けた働きかけなど) を業界と連携して実施</li> <li>6. 建設産業に関係する制度の整備など 建設業の現場における労働法制の影響などに関する整理 (女性技能者の坑内労働など)</li> </ol>
	2014	2015	2016	2017													
建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%													
産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%													
建設産業で働く女性を応援する取組を全国に届けさせる	<ol style="list-style-type: none"> <li>①令和6年までに新計画の内容の認知度100%を目指す。</li> <li>②令和6年までに都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画の普及を図るための広報活動 新計画策定委員会に参加していない業界団体に対するPR方法の検討</li> <li>2. 建設産業女性定着支援ネットワークのさらなる活動の充実、全国展開 建設産業女性定着支援ネットワークの構成団体が各地で行う地域ぐるみの活動の支援</li> <li>3. 地域中小建設企業における女性技術者・技能者の確保・育成 各地域における女性定着のための取組の推進</li> </ol> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>取組の趣旨と姿勢を明確にするため、「建設産業女性活躍推進ネットワーク」の名称を「建設産業女性定着支援ネットワーク」に変更。</p> </div>															

# 女性技術者のi-Constructionに期待する声

## i-Constructionの活用効果

### 【施工時の生産性向上】

施工時間の短縮

経験年数に関係なく、均一かつ高精度な施工が可能

### 【測量時の生産性向上】

UAVなら測量作業の現場の効率化に！  
3次元設計データ作成により丁張りが不要

### 【安全性の向上】

建設機械との錯綜作業が減少し建設機械周辺の安全性が確保される

測量時の高所や傾斜地などの危険箇所での作業が減少

## 特に女性技術者に向けてのメリット

材料や測量機器を持って現場内を移動するなどの力作業が減少

丁張りが3次元データ作成に置き換わることで在宅での「丁張り」が可能。

→ 体調不良時や育児期間などテレワークでの作業が可能に

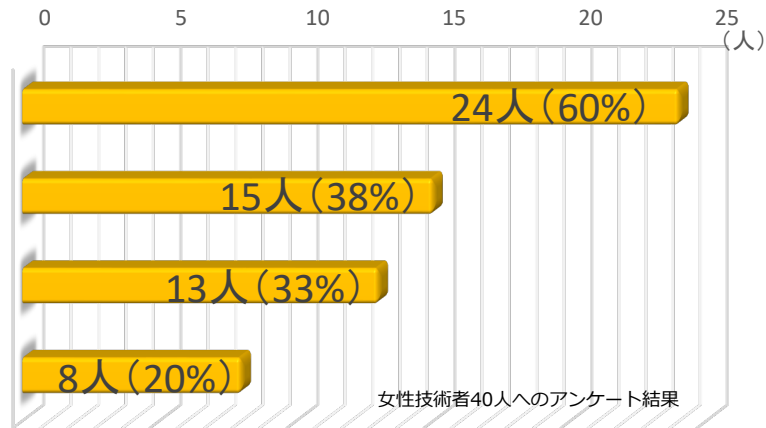
**女性技術者の  
定着促進に！**

- ICT施工が普及すれば、丁張りや、測量機器を持って現場内を走り回る作業など力作業が省力され、女性が建設現場で活躍できる機会が増えると実感。
- 情報系などの職種の人が建設業に入職する層が拡大し、建設現場への関心が拡大するのでは。
- 効率化が進むことで「時短」につながる視点を増やして、女性が働きやすくなると嬉しい。
- 結婚や出産、育児などを経て、家庭を持って現場でも働きやすくなると思う。
- 女性の働き手を確保するために、i-Constructionの魅力をたくさん発信すべき！



# 40人にアンケート！

## 建設業界に就職するときに女性として不安だと思っていることは？



### 第1位

結婚・育休と仕事の調和や転勤に関する不安 24人 (60%)

働き始めた現在…

**払拭・解消率 24%**

・育休、産休の制度が整い取得しやすい環境になってきている

### 第2位

体力や力面等に関する不安 15人 (38%)

働き始めた現在…

**払拭・解消率 27%**

・i-Constructionの活用、BIM/CIMの利用により作業の効率化と、省力化が図られ、さらに女性用の作業着も導入

### 第3位

トイレや更衣室等の職場環境に関する不安 13人 (33%)

働き始めた現在…

**払拭・解消率 88%**

・現場環境は今までの活動を通して大きく改善し男性、女性ともに使いやすくなった

### 第4位

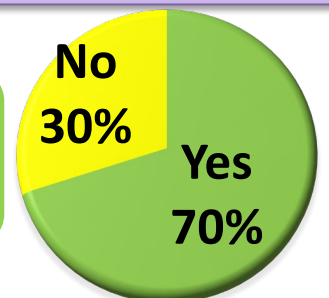
会社の中で周りに女性技術者がいないという不安 8人 (20%)

働き始めた現在…

**払拭・解消率 20%**

・女性技術者が次第に増えており、チーム“愛”等を通じた交流もある

就職した現在、不安は全体的に**70%**解消！！



(MEMO)





Chapter  
**03**

「チーム**“愛”**の  
活動」

2019年5月8日 けんせつ小町活躍推進表彰より

けんせつ  
小町  
チーム“愛”

# すべての人が長く働ける

# 建設業を目指して

「けんせつ小町・チーム“愛”」とは

愛知県道事務所と関わり合いのある、建設会社・設計会社・行政で働く  
”女性技術者”を中心に平成28年度に結成し、建設関連業における職場環境の改善、  
勉強会や学生への就職支援活動など様々な活動に取り組んでいるチームです。

女性技術者の先駆者・子育て世代・若手など様々な立場のメンバーで構成される、  
私たち「チーム“愛”」は、おもに以下を目標として活動しています。



チーム“愛”キャラクター



H 28

16名

建設会社	3名
建設コンサルタント	5名
国土交通省	8名

平成28年度 結成時



R 6

75名

建設会社	29名
建設コンサルタント	23名
国土交通省	20名
その他、行政等	3名

令和6年4月時点

## チーム“愛”の目標

- ◆建設関連業での私たちの仲間を増やしたい！
- ◆やりがいを持って長く働きたい！
- ◆幅広い業種・世代での女性技術者間における交流の場を作りたい！

## これまでの活動



## 平成28年度活動

## チーム“愛”結成



女性技術者が活躍している現場  
環境視察の実施



平成28年度に現場環境改善に向け  
た提案書が提出された！



意見交換の様子



### 「チーム“愛”」からの提案書概要

1. 全ての工事現場に「快適トイレを設置」
2. 監督職員待機所の「トイレ環境の改善」
3. 監督職員待機所に女性技術者が集まり  
情報交換を行う「交流の場の創出」
4. 女性が働く場へ「休憩施設の設置」

## りんくるハウス開設

## 平成29年度活動

## 職場環境の改善



提案書を受け、「りんくるハウス」を開設

## 勉強会開催



女性技術者が活躍するためのi-Construction勉強会の開催





- ・トンネルBIM/CIMの実施内容（座学）
- ・意見交換会



- ・トンネル工事におけるBIM/CIM活用現場の視察

## 建設技術フェア2018in中部 学生交流ひろば チーム“愛”ブース出展

### 「学生交流ひろば」にて

未来の女性技術者に対して、第一線で活躍する先輩女性技術者が、様々な女子学生の疑問に答え、女性技術者の入職支援を行うことをねらいとして出展しました。



けんせつ小町・チーム“愛”の活動体験



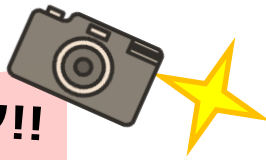
建設技術フェア2018「学生交流ひろば」にて



### 学生からのご意見や感想

- ・自分が知らなかったことをたくさん聞いてよかったです。
- ・実際に働いている女性技術者の方から生の声を聞いて勉強になりました。
- ・女性の立場から建設業界について聞けるのが良かったです。
- ・今までこうした団体があることを知らなかったので知識がふえました。
- ・現役の女性技術者の方から直接話が聞いて、就職の参考になりました。





平成30年度までの活動が全国で認められ けんせつ小町活躍推進表彰で最優秀賞を受賞

# けんせつ小町・チーム“愛”が 最優秀賞を受賞!

愛知国道事務所で結成された「けんせつ小町・チーム“愛”」が、一般社団法人日本建設業連合会が主催する第4回「けんせつ小町活躍推進表彰」において、応募全91件の中から「**最優秀賞**」に選ばれました。



令和元年5月8日  
経団連会館(東京都)での表彰

Grand Prize!

受賞理由の  
要約

- 発注者、建設会社、設計会社などが一体となったスケール感のある活動である。
- 愛知国道事務所を中心とした組織的な取り組みであり、活動の継続性が期待できる。
- 今回の応募の中にも、けんせつ小町・チーム“愛”に参画している活動があり、業界内への波及効果がある。



けんせつ小町  
チーム“愛”

建設業界への女性の入職促進を目的に、産×官の愛知国道事務所事業に携わる女性技術者が中心となって平成28年度に結成。現在、施工会社26名、設計会社12名、行政12名の計50名が多様な活動を展開しています。(令和元年5月1日現在)



産×官の女性技術者で構成される「けんせつ小町・チーム“愛”」

## SPECIAL PRIZE

けんせつ小町  
チーム“愛”  
技術者の活動にも  
**特別賞!**

けんせつ小町・チーム“愛”に参加している企業(若築建設(株))の活動にも、同表彰において特別賞が授与されました。現場代理人従事中に妊娠した女性技術者が、妊婦でも安全に現場管理ができるよう数々の工夫を行い、工事完成まで従事した活動が評価されました。(写真は工事完成後に誕生した赤ちゃんと)



国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所

# 愛知県宮本副知事+けんせつ小町・チーム“愛” 交流会

令和元年6月10日(月)



## 女性用フルハーネスについて 説明を受ける宮本副知事

- 女性用のフルハーネスの導入
- ・ 全体的な軽量化
  - ・ 女性の体型に合わせたベルト
  - ・ 安全性の向上

## チーム“愛”メンバー意見

- 中小企業では女性技術者1人といった状況で、**ロールモデルが身近にいない。**
- 女性同士の仲間が集まれる場がほしい。
- 色々な職種で、男性も含めて意見交換してみたい。女性活躍推進は**女性の問題**でなく、**男性も含め、会社・発注者全員で考えるべき。**
- 社内で**意見を言いやすい環境**になってきており、**用具も女性用のものが増えた。**



交流会（意見交換会）にて

## ～宮本副知事よりmessage～

ここにいる**皆さんは建設業の女性技術者の先駆者。**

建設現場の特殊性は理解できた。**他の産業でも、女性が働くのは無理だということ**をずっと言われてきたが、**乗り越えてきたという歴史がある。**

他産業がどうやって工夫をしてやってきたのか参考になるのではないかな。

**やめないでいただきたい。**

やめないで続けていくと組織としてはなんとかせざるを得ない。組織として対策を考える、組織として何年も何年もかけて育成した人材がやめられてしまうと痛手。

出産育児をするとその間、**パフォーマンスが落ちる、十分に働けないと思う**かもしれないが、**長い職業人生のほんのわずかな期間。**

**後輩の女性が皆様方に続いていけるように頑張りたい。**



※令和元年6月時点

## チーム愛の強み（広がりと継続性）を生かして ～すべての人が長く働ける建設関連業を目指す～

- すべての技術者が建設関連業で  
**やりがい**を持って、**長く働き続ける**ための、  
改善項目の抽出・提案を行う
- 今年度策定される予定の「建設関連業の女性  
活躍に関する新たな行動計画」を踏まえ、意  
見交換を深め、課題などをとりまとめをおこ  
なう。

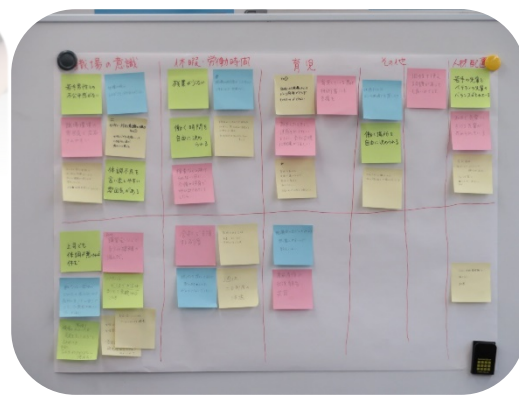


令和元年6月10日  
愛知県宮本副知事+チーム愛交流会（現場視察より）



## 第1回意見交換会 令和元年10月10日

ふせんを使ったグループワーク



「建設業でやりがいを持って長く働くための改善すべき点等について」をテーマに課題&改善策をグループディスカッション形式で意見交換を開催。

### 休暇や残業などの職場環境について

### イメージについて

★ 育児休暇の  
ロールモデルの情報  
共有や、託児制度を  
充実してほしい。



★ 休暇を取りやすい雰囲気  
作りが必要。休暇取得を  
義務化してほしい。

★ 勤務時間、残業縮減に  
向けた組織的な取り組みを  
知りたい。

### ★土木のイメージを向上！！

- ・モテる土木・ドラマになる土木になりたい  
(作業着、現場環境を改善)
- ・古い風習を払拭したい！！  
(たとえば・・・土日勤務や残業が  
当たり前という感覚をなくしたい。男性の  
育休や育児参加を当たり前にしたい)

### チーム“愛”意見の抜粋



# 建設技術フェア2019

## 学生交流広場

令和元年10月15日・16日

### 会場の雰囲気

#### 作業着の展示！

普段は着る機会がない  
ファン付き作業着や  
色々な企業の工夫された作業着を体験

#### 写真展示！

チーム“愛”の活躍を写した写真や活動内  
容を詰め込んだパンフレットも配布

#### 現役女性技術者からのアドバイス！

現場の第一線で働く女性技術者から  
学生に向けて建設業の魅力を伝えました。  
また、不安に思っていることや疑問につい  
てもサポートさせていただきました。

#### 建設技術フェアを通して

建設技術フェアを通して  
学生が持つ悩みを少しは  
払拭できたのではないかと  
感じています。  
しかし、まだまだ不安に思っ  
ていることはあると思うので、  
さらに魅力を発信していきたい  
です。

内訳：学生75名  
女性39名  
男性36名

ブース来場者  
150名



作業着の説明中



パネルでインスタ気分





## 第2回意見交換会 令和元年12月16日



第1回意見交換会の結果を踏まえ、意見集のとりまとめに向け5つのテーマでグループディスカッションを行いました。



### テーマ

**「雰囲気良く、円滑なコミュニケーション」**

女性はこうだ！  
との決めつけや、相談をしても昔の話を引き合いに出されてしまい消極的になる。お互いが話しやすい雰囲気作りを努めていく必要がある




### テーマ

**「生活と仕事の調和」**

「育児は女性がやるもの」という固定概念を払拭するため、会社の上層部を含め全ての人を対象に、認識を変えていく必要がある

書類簡素化、TV会議活用など、受発注者ともに仕事の効率化に向けた取り組みが必要

## チーム“愛”意見の抜粋



## 第3回意見交換会 令和2年2月26日

これまでの  
第1回、第2回意見交換  
(グループディスカッション)  
での意見を基に作成した意見集  
案について、記載内容や表現の  
追加・修正を行うとともに、メ  
ンバー同士で意見集への理解を  
深めることを目的に  
意見交換を実施。



### 意見集について

意見集案は  
「女性の定着促進に向けた  
建設産業行動計画～働きつ  
づけられる建設産業を目指  
して～(R2.1.16国交省+  
6団体により策定)」を踏  
まえ、チーム愛メンバーの  
意見を17のテーマに分  
類。

各テーマについて議論。



### 意見交換会の様子

メンバーからは  
意見集とりまとめに  
当たっての具体的な  
追加・修正意見のほか  
チーム“愛”の今後の活  
動の展望に関する  
提案もあり、活発な  
意見交換となりました。

すべての人が  
長く働ける  
建設業を目指して



けんせつ小町・チーム“愛”

意見集

# 意見集 完成!

「すべての人が長く働ける建設業をめざして」をテーマにハード面のほか、コミュニケーションの意識面での改善、超過勤務縮減、休暇取得、技術力向上について意見交換を行い17項目をまとめた意見集を作成しました。

この意見集では、わたしたちチーム“愛”を代表する意見として、メンバーの多くが共有できるもの、今後の課題解決のための提案につながるものを特に抽出して意見集としました。



## けんせつ小町・チーム“愛” 「意見集」 手交会及び意見交換会

意見交換会の成果として「意見集」を作成し、中部地方整備局長に手交を行うとともに、意見交換会を行いました。



- 新技術活用を進めて業務を効率化したい
- パワハラ・セクハラに対する意識が薄い
- 女性特有の体調不良に正しい認識を
- 女性に対する「特別視」と「配慮」は違う
- 育児・介護など急な事態に対応できるシステムを
- 災害対応時にサポートできる組織作りが必要
- 受発注者ともに週休2日制の徹底を

### 【堀田局長からの意見】

- 意見集作成に向けた情熱に感謝
- 男女等しく働ける環境は当たり前であり、  
国をあげて行うべき最重要事項
- Withコロナの現状を機会に  
働き方を変えて行こう
- この「意見集」を  
いかに活かしていくかが大事



『私がサポーター第1号になります！』

# 建設技術フェア2020



「学生交流ひろば」にて未来の女性技術者に対して、第一線で活躍する先輩女性技術者が、学生の就職前の疑問や不安に答え、女性技術者の入職支援を行うことを目的に出展しました。

令和2年10月14日（水） 15日（木）



## ～会場の雰囲気～

### ・意見集の展示・配布！

「すべての人が長く働ける建設業を目指して」をテーマに意見交換会で出された意見を取りまとめた意見集を配布しました。

### ・ポスター展示！

チーム“愛”の活躍が見れる写真やこれまでの活動など、チーム愛のこれまでがぎっしり詰まったポスターの展示を行いました。

### ・現役女性技術者からのアドバイス！

現場の第一線で働く女性技術者から学生に向けて建設業の魅力を伝えました。また、不安に思っていることについてもサポートさせて頂きました。



## ブース来場者

55名



## ～建設技術フェアを通して～

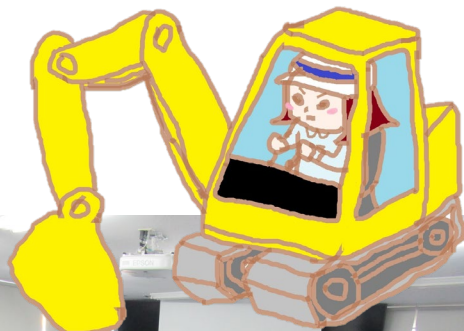
就職活動を行う学生が持つ悩みを建設技術フェアを通して少しは払拭できたのではないかと思います。意見集も多くの方からご好評をいただけたため、さらに魅力を発信していきたいと思っております。





### スマートコンストラクション概要

スマートコンストラクションによって土木や建設現場での労働力不足や安全性、生産性の向上などあらゆる課題解決に向けた「**未来の現場**」について学びました。



### 意見交換会

チーム“愛”&チームスマコン初めての異業種意見交換を行い、労働環境についてや取り組みなどの話からICT建機の導入事例など更に詳しくお話が聞けました。



令和3年7月28日(水)

コマツIOTセンター(株)



ICT建機と記念撮影

★ICT施工が普及すれば、丁張りや、測量機器を持って現場内を回る作業など力作業も時間も省力され、今よりもっと女性も男性も建設現場で働きやすくなると実感！

★熟練者と若手との技術力の差もICT建機であればすぐに現場で実践力として活躍することもできる！

# 建設技術フェア 2021 in 中部

12月14日(火)・15日(水)  
名古屋市千種区にある吹上ホールで  
「建設技術フェア2021in中部」が開催されました！  
チーム“愛”はパネル展示を行いました。



ブース来場者67名



パンフレットと意見集



## 建設技術フェア2021

- 土木などの建設関連業で働きたい学生の疑問や不安を聞きました。
- 業種もコンサルタントや施工会社、行政の役割の違いなどをお伝えできました。
- 結婚・出産を経験しても働き続けるためのアドバイスもできました！

学生から技術者へ  
コロナ禍での入職不安について  
やライフステージが変わっても  
辞めずに働き続けていけるか？  
また、育児と仕事をどの様に両  
立させているのかなど具体的な  
質問や不安が聞きました。



子育てしながら働く場合の  
勤務時間って？



学校の授業とは違  
うとても興味深い話が聞けた！



コンサルってなに??



女性技術者からは  
結婚・出産、育児をしな  
がら働いている自身の  
経験からアドバイスをさ  
せていただきました。



○日時：2022年 10/4（火）・10/5（水）

○場所：「ポートメッセなごや 第3展示館」

（名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地）

ブース来場者58名  
（学生）

# 建設技術フェア 2022in中部

けんせつ小町・チーム“愛”は「建設技術フェア2022in中部」に今年もチーム“愛”ブースを出展しました。

ゼネコン、コンサル、行政など第一線で活躍する先輩女性技術者が、未来の女性技術者に対して、建設関連業等への就職前の疑問や不安に答え、女性技術者の入職支援等を行いました。



パネル展示



作業着の展示

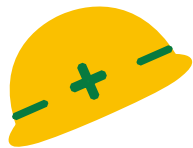
技術者のリアルな一日（タイムスケジュール）を業種別で紹介したパネルを展示

—学生の反応—

- ◆仕事の一日の流れなど、知りたいと思っていたので嬉しい！
- ◆業種の違いを知る事ができた！



参加型アンケート



けんせつ小町・チーム“愛”は、産×官×学の取り組みの一環として学生との意見交換会を行っています。

ゼネコン、コンサル、行政など第一線で活躍する先輩技術者が、就職前の学生が抱える不安や疑問に対して、就職前と就職後のギャップや苦労した事、楽しかったことなど実体験を交えてお伝えし、活発な意見交換となっています！

## 第1回意見交換会

○日 時：2022年12月5日（月）

○場 所：愛知工業大学（八草キャンパス）

○参加者：学生17名、チーム“愛”15名



## 第2回意見交換会

○日 時：2023年10月19日（木）

○場 所：愛知工業大学（八草キャンパス）

○参加者：学生13名、チーム“愛”20名

就職したらどんな仕事をするの？

1日のスケジュールは？

残業はどのくらいあるの？



### 学生からの意見

Q.ピアスやネイルなどはできるか？

Q.希望する男性職員からの接し方

Q.職場（主に現場）はきれいか？

### チーム“愛”からの回答

A.長いネイル、引っかかるピアスではなく、控え目なものであれば

A.男女関係なく接してほしい

A.どの職場であっても5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を基本に安全ときれいさを保っています



# 建設技術フェア 2023in中部

○日時：2023年12月6日(水)・12月7日(木)

○場所：ポートメッセなごや 第3展示館

(名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地)

ブース来場者(学生) 28名



けんせつ小町・チーム“愛”は「建設技術フェア2023in中部」に

今年もチーム“愛”ブースを出展しました。

第一線で活躍する技術者のリアルな1日のタイムスケジュールを業種別に紹介したパネルを展示や、参加型シールアンケートを実施しました。



技術者からのアドバイス



業種別のタイムスケジュール



参加型シールアンケート

建設業に興味がある方や  
従事している方に質問！！

該当する項目のシールをツリーに貼って、  
オリジナルのクリスマスツリーを作ろう！



建設業に、期待することは？

A 休日・休暇が充実している

B 給与・手当がしっかりとしている

C モチベーションがあがる職場環境  
※きれいな職場や人間関係が良好など

D キャリアアップが充実している  
※成長機会の多さなど



# けんせつ小町・チーム“愛” インフラDXを体験 西知多道路の工事現場を見学しました！

○日 時：2024年2月8日（木）

○場 所：一部 中部インフラDXセンター

二部 国道247号西知多道路 東海ジャンクション

○参加者：チーム“愛”メンバー 19名 （二部 17名参加）

けんせつ小町・チーム“愛”による現場見学を行いました。  
一部では 中部インフラDXセンターにて、DX技術の座学と体験。  
二部ではインフラDX技術の一つであるAR（拡張現実）技術の体験を実施。  
国道247号西知多道路は複数のランプ（連絡路）が複雑に交差する工事現場であることから、  
可視化ツールを活用し完成後の道路イメージの確認などを行いました。



↑第一部 インフラDXセンターにてDX技術の体験



↑第二部 AR（拡張現実）技術を活用した可視化ツールを体験



## チーム“愛”メンバーからの感想

「ARを活用した可視化ツール(タブレット端末)を既設のランプ橋にかざして、完成後の道路イメージを見ることができると、わかりやすく、現場での打合せや、説明時にも使ってみよう。」





# けんせつ小町・チーム“愛” キャラクター紹介

なまえ

あ い み

愛 未

です！

## なまえの由来

愛知国道の「愛」に  
「土」と「木」を合体し「未」  
そして私たちの未来への  
希望を込めて名付けました

## 誕生日

1月3日

## 趣味

橋好き！（マニア）  
お城めぐり

## 特技

早寝早起き

## 目標

「土木の仕事が大好きだ」「この仕事が  
大好きだ」という女性が輝きながら、  
建設の仕事で働くことをさらにたくましく、  
誇りを持って働ける環境を作ること！！

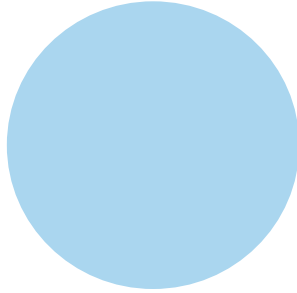
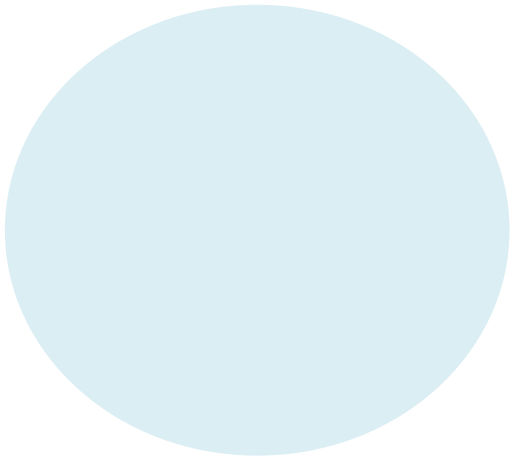
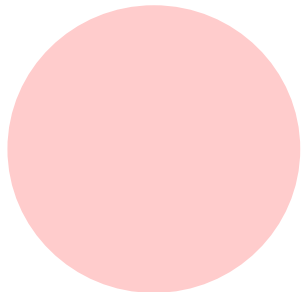
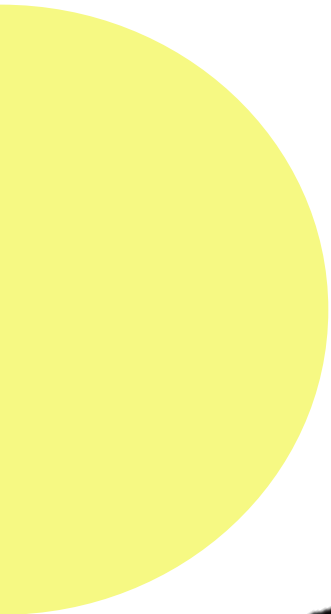


テックフォース  
TEC-FORCE 服



(MEMO)





チーム“愛”の活動をもっと知りたい



X 愛知国道事務所 公式X  
@mlit\_aikoku

愛知国道事務所 公式Xもみてください！！



愛知国道事務所

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-62  
(代表) 総務課 TEL (052) 761-1191 FAX (052) 761-1199  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/>  
E-mail: aikoku@cbr.mlit.go.jp

